

G&E 特別部会 第 1 回分科会ご案内

<G&E特別部会および企業情報勉強会の今後の進め方 >

ー昨年 11 月にスタートした企業情報勉強会、および昨年 5 月にスタートした G&E 特別部会は屋上緑化と太陽光発電のコラボの可能性検討については試行錯誤を経つつ、それぞれ概ね初期の目的を達したと判断し、次の新しい実践的なステップに展開を図りたいと思います。

今後、G&E 特別部会は (1) 方針検討会議、(2) 分科会、(3) 全体会議、の組成とローテーションにより収斂させてゆきたいと思います。(1) で推進の方針を確認し、(2) で情報収集・分析等を行い、(3) で総括して成果を確認し、次のステップに進むことになります。

●分科会については、下記の二つに分け、会員各位のニーズに応じてご参加いただきます。

① (仮) 事例・実験データ検討分科会：

産官学界における先端的開発事例や調査研究の実証データを一元的に収集・共有し体系的に整理する。成果は新規プロジェクトや技術開発、新制度提案などの参考情報として活用する。

② (仮) コラボ・タイプ検討分科会：

屋上・壁面緑化と太陽光パネルの共存型や棲み分け型など配置パターン別にメリット・デメリットを分析・検討する。成果を発展させ用途別・規模別プロトタイプ成立の可能性を探る。

●なお、企業情報勉強会については、特別部会・分科会の進捗に応じて適宜開催する。

●上記勉強会、特別部会の発足当初の開催趣旨を別紙に示す。

■第 1 回分科会

1. 日時 2月18日(月) 16:00~18:00
2. 場所 田島ルーフィング株式会社 8階会議室
東京都千代田区岩本町3-11-13 田島ビル(別添、地図参照)
連絡先 03-5822-2501(田島緑化(株))
3. 議事 (1) G&E 推進経緯と分科会開催趣旨
(2) 推進スケジュール(中期3ヶ年、当面)
(3) 2分科会に分かれて討議
 - ①構成メンバー(リーダー互選)
 - ②検討項目: 検討資料提示
 - ③成果目標: 制度企画提案/技術提案、商品企画
 - ④今後の進め方確認

以上

G & E 特別部会・第1回分科会参加申込書

●ご参加希望者は メール info@sky-front.or.jp または FAX 03-6205-4072
で 研究会事務局までご連絡ください。 複数名ご参加の場合、個々にお申し込みください。

■2月18日(月)の参加申込書

G & E 特別部会第1回分科会	16:00~18:00	() 参加する
情報交換会・懇親会(有志)	18:15~	() 参加する

■今後、関連情報をご連絡いたしますので以下にご記入ください。

- 社名・団体名・所属 _____
- 担当者氏名 _____
- ご連絡先 (Tel/Fax) _____
- ご連絡先 (E-mail) _____

田島ビル位置図

地下鉄都営新宿線 「岩本町」 A4 出口 徒歩3分
地下鉄日比谷線 「秋葉原」 4番出口 徒歩3分
JR「秋葉原」昭和通り口改札から 徒歩5分



趣意書：「新企業情報勉強会」実施について

趣旨：この度、研究会では「会員に開かれた研究会」の充実を目指し、新たな情報交換の場を設けることとしました。異業種の集まりである当研究会において会員相互の理解を深め事業を一層活性化することを目的としております。

かつて、数年前に「企業情報勉強会」と称して実施したものの復活版となります。

屋上空間利活用の分野では屋上・壁面緑化の展開と共に、多彩な利用形態が出現してきております。そのなかで最も活発な動きを見せている「太陽光発電等」自然エネルギー導入と緑化との共存のための方策について当面の検討テーマとしたいと考えており、勉強会が新市場開拓のきっかけになればと念じております。

「太陽光発電」につきましては、エネルギー自給自足、サステナビリティ向上、屋上有効活用という長所がありますが、施工ミスによる雨漏り、発電効率不順、無機的景観という課題があります。

かたや「屋上緑化」には義務化・普及による建築構造と緑化基盤の複合化技術蓄積、緑化による微気象で屋上表面温度低下、休息・癒し空間機能による建物の付加価値向上、都市景観の向上、緑のインフラ・ストラクチャ形成や生物多様性保全への貢献による都市環境の改善、等々と上記課題を緩和する長所があり、双方の組み合わせによる相乗効果が大いに期待されます。

なお、本活動は発展的に、例えば「屋上価値開発部会・エネルギー分科会」の創出に、また、技術開発部会との連携により、新技術・新商品開発につなげたいと思います。

つきましては、会員各社、またご入会検討の方々におかれましては事業紹介、技術・商品紹介情報を通じて自社PRされると共に、新市場開拓へのお力添えをいただきたいと思います。

実施内容とプログラム：1回2時間程度（開催頻度：2～3ヶ月に1回）

- ①前半1時間：企業紹介（自社事業・技術・商品紹介）2社
- ②後半1時間：太陽光発電・自然エネルギー等に関するレクチュア（産官学等）
- ③懇親会：会員相互の情報交流

*①、②の構成が変わる場合があります。

レクチュア講師候補：

- ①産業界：会員企業、一般企業（新規情報提供）、業界団体
- ②官公庁：国交省、環境省、農水省、経産省（NEDO 関連）
- ③大学・研究所：建研、HI学会等

開催場所：会員各社の会議室、研究会事務所

以上

<G & E 特別部会に参加しませんか>

■目的

“建物緑化（屋上緑化・壁面緑化）”と“太陽光発電”のコラボレーションにより、「ヒートアイランド対策に適應した快適な都市環境の創出と都市景観の向上を担保しつつ、エネルギー施策としての太陽光発電の効率向上に寄与する」という両者にシナジー効果をもたらす新市場の開拓を目指し、新技術、新制度の調査研究を行う。

「G & E 特別部会」を新設して推進する。（G & Eとは、Green & Energyの略。）

■目標

新年度上半期の特別部会設置および外部関係機関との協議を経て目標を明確化し、新技術・新制度の提案骨子を年度内に作成する。平成25年度諸機関の調査研究公募案件対応準備を図る。

目標年次としてH24～26年度の有期3ヶ年とし、各年度毎の成果物をタイムリーに社会に訴求してゆく。

■組織（特別部会）：現在組成中

部会メンバー 趣旨に賛同する既存及び新規入会の正会員・賛助会員、または賛助会員にステップアップする協力会員で構成。当面のオブザーバー参加を認める。

（官公庁オブザーバー）：環境省 水・大気環境局、大気環境課、大気生活環境室

（ヒートアイランド対策所管）室長補佐 山根正慎(マサノ)氏、調整係 古堅(コカキ)宏和氏

（アドバイザー）：東京都市大学都市生活学部教授 坊垣和明氏（元建築研究所）

明治大学農学部教授 輿水肇氏（研究会副理事長、都市緑化機構理事長）

放送大学教授 梅干野晃氏（同理事、日本HI学会長、東工大名誉教授）

事務局：研究会

■ワーキンググループ（分科会）

特別部会と連携して技術的な検討項目や制度提案等について専門分野の知見を集めるため、また、調査案件等の進捗に応じて組成する。

■当面の作業

1. 目標設定：マクロスケジュール（3ヶ年）、市場対象の見極め
2. 今後の勉強会プログラムと部会スケジュールの連携作業
3. 事例等参考資料の収集整理：パンフレット他
4. 外部関係機関との協議・情報交換

特定非営利活動法人屋上開発研究会

〒100-0011 東京都千代田区内幸町2-2-3 日比谷国際ビルB136（B1階）

TEL 03-6205-4071、FAX 03-6205-4072

MAIL info@sky-front.or.jp

HP http://www.sky-front.or.jp